

外国への流出リスク事例

諜報工作

- ・謝礼・脅し・隠蔽：流出事実の発覚を防ぐ極めて巧妙な手法・プロの「スパイ」の心理操作テクニック（一度餌食になると離脱が困難）を使用例）発覚しない持出方法の教示、指示に従うしかないと思わせる状況の創出

幅広い情報活動

- ・SNSの利用：偽の企業名と女性名で化学メーカーの社員に働き掛け、タッチパネル電子材料に関する技術情報を入手
- ・共同研究：米国が制裁対象とする外国ICT企業の日本法人が大学教授に共同研究を提案
- ・企業買収：大手企業を主要取引先とする日本の中小企業（半導体関連技術を保有）を買収
- ・合併：有利な条件で日本企業と合併会社を設立し、軍事転用可能な製品を懸念企業・大学に販売

サイバー攻撃

- ・海外拠点を經由：日本の防衛関連企業の海外拠点サーバに侵入した上で日本国内のシステムを攻撃

FBIによる技術情報等の流出防止に関する啓発動画



産学官連携の推進

- ・警察では、産学官連携による技術情報等の流出防止対策を推進するとともに、関係機関との連携を緊密にし、流出に対する情報収集・分析及び取締りを強化することで、先端技術を含む技術情報等の流出を効果的に防止しています。
- ・例えば、警察は、技術流出防止に向けた対策の一環として、企業等を訪問し、検挙事例に基づく具体的な手口に係る情報を提供するなどして注意喚起を行うとともに、各種相談や不審情報等の通報を依頼しています。
- ・皆さんが不審な動向や情報等を少しでも把握された場合は、遠慮なく警察に対して情報提供や相談を行っていただきますようお願いします。

